

次の出水期に今から備えよう！

～紀宝町タイムラインふりかえり会議を開催～

～紀南河川国道事務所～

三重県紀宝町は我が国で最初にタイムラインが導入されました。導入後3年が経過しましたが、タイムラインに完成はなく、常に実践・見直し・改善を図ることで地区の防災力向上に繋がります。

今回、紀宝町タイムライン関係機関が一堂に会し、今年度の紀宝町タイムライン行動について、「ふりかえり会議」を開催し、反省点や今後の改善点について班別ワークショップ形式で意見を出し合いました。

意見・改善点を共有し、タイムラインを見直すことで、次の出水期に備えます。

- 日 時：平成30年 1月19日(金) 13:30～16:00
- 場 所：紀宝町役場 防災拠点施設
- 主 催：紀宝町
- 参加者：紀宝町役場、議会事務局、紀宝町福祉協議会
熊野市消防、紀宝警察署、紀宝町消防団、各自主防災会
津地方気象台、紀南河川国道事務所 【計：30名】

位置図



ふりかえり会議の進め方

平成29年台風第21号タイムライン行動のふりかえり

反省点・課題の抽出

改善策の提案

コミュニティ支援班

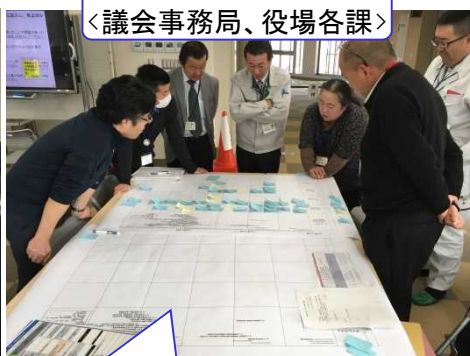
＜自主防災会、消防など＞



- ・可搬ポンプの設置は増水前に
- ・河川管理施設の状況把握が必要
- ・防災無線が聞きとりにくい

紀宝町役場班

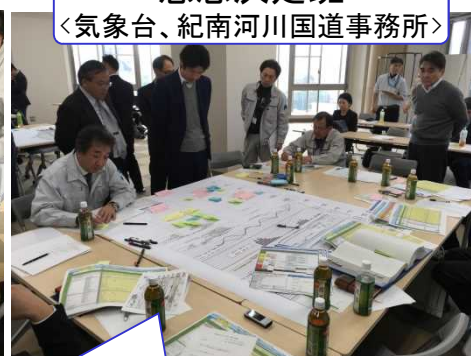
＜議会事務局、役場各課＞



- ・船舶救助の想定が必要
- ・避難所の停電対策が必要
- ・リエゾン派遣時期を見直す

意思決定班

＜気象台、紀南河川国道事務所＞



- ・テレビ会議の音質改善が必要
- ・河川管理施設の稼働状況を共有する
- ・ホットラインは事前調整が重要

ふりかえり会議の結果

- ・タイムラインに完成はない。実践し、常に見直しを行う。
- ・降雨予測、河川水位、上流利水ダムの放流量が地域にとって重要な情報であり、常に把握することが重要。
- ・河川管理施設の稼働状況の連絡、人員配置のタイミングなど、すぐに出来る事はすぐに改善する。



紀宝町防災行政総合アドバイザー
松尾氏による講評